

1/29 食と企業の祭典 ちくせい Blue Expo



コロナ禍でイベントが少ない中、若い力で地域を盛り上げようと、市商工会青年部（飯村彰彦部長）主催の「第2回ちくせい Blue Expo」が、明野公民館で開催されました。当日は、地元の特産品や野菜を使った鍋1グランプリやダンスステージなどが盛り上がりを見せ、参加者からは「徐々に活気が戻ってきたようでうれしい。次も楽しみにしている」と、とても好評でした。

2/8 手話言語講演会で ろう者の歴史や手話を学ぶ



聴覚障がい者が歩んできた歴史や文化に向き合い、手話への理解を深めるため「ろう者と聴者のコミュニケーションのズレ」をテーマに、ペアノで手話言語講演会を開催しました。講演では、手話の自然な表現方法やろう者と会話するときの表情などを実践。参加者は「ろう者とのコミュニケーションをとるときに大切なことを学べた。今後役に立てていきたい」と話しました。

スポーツ Sports News

第4回 全日本空手道選手権大会

12月11日 練馬区光が丘体育館（東京都）



【小学5年男子軽量級 35kg 未満】優勝 柳田 竜都（下館小5年）
【小学6年生初級クラス】第3位 上野 毅大（養蚕小6年）
【中学生女子軽量級 48kg 未満】第3位 柳田 稀音（下館中1年）

1/26 子どもたちの食農のため JA北つくばが地元野菜を提供



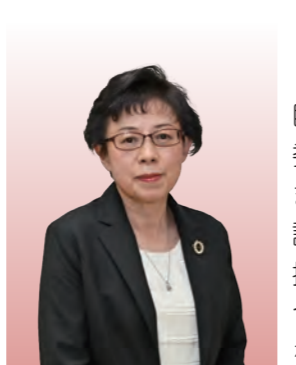
食農教育の一環として、地元農産物の知名度向上と地産地消を推進するため、JA北つくば（古澤諭組合長）から協和地区のレタスと結城市の白菜計675kgを学校給食に提供いただきました。提供された野菜はスープや煮物に使用。菊池雅裕副市長は「子どもたちが旬の食材を身近に感じることができるよい機会になった。今後も、地産地消を推進していきたい」と感謝の言葉を述べました。

2/5 わたせせいぞうさんサイン会 全国各地からファンが集まる



しもだて美術館で開催している「わたせせいぞうの世界展～色彩の旅路～」に合わせ、わたせさんのサイン会が行われました。当日は抽選で選ばれた150人が参加し、愛知や広島など、全国からファンが集まりました。参加者は「わたせさんの作品は自分の青春そのもの。直接本人に感想を伝えることができうれしい」と笑顔で話しました。同展覧会は3月12日（日）まで開催中です。

1/1 法務大臣から 人権擁護委員を委嘱



齋藤博美さん（板橋）が法務大臣から人権擁護委員を委嘱されました。人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしたりするボランティアです。生活の中で困っていることや悩んでいることがありましたら、お気軽に相談してください。



1/26・27 北海道豊頃町でトップセールス いちごなど筑西の農産物をPR



旬を迎えた市のいちごをPRするため、須藤市長が北海道豊頃町（按田武町長）を訪れました。豊頃町とは、二宮尊徳にゆかりのある自治体として交流を続けており、今回で2回目の訪問となります。現地では、筑西ブランドのいちごやスーパーフルーツトマトなどを販売し、いちごは10分で完売。購入した人は「食べるのが楽しみ。またぜひ来てほしい」と大好評でした。

2/5・11 4年後にまた会おうね 1万8,000匹の稚魚を放流

5日に鬼怒小貝漁業協同組合（宮田芳男組合長）が鬼怒川、11日にしもだて紫水ロータリークラブ（田中邦明会長）が動行緑地と、それぞれの場所で鮭の稚魚放流会を行いました。この活動は、水産資源の保護や命の大切さを感じてほしいとの思いで開催されています。両日で親子連れなど約850人が参加。鮭の生態について学んだ後「行ってらっしゃい」、「大きくなって無事に帰ってきてね」など声をかけながら、体長約7cm、重さ約3gの稚魚を計1万8,000匹放流しました。放たれた稚魚は、今後オホーツク海、ベーリング海を回遊し、およそ4年の歳月をかけて生まれ故郷である筑西市に帰ってくると言われています。



2/11・12 神秘の絶景に包まれて“ととのう” ダイヤモンドサウナ初開催



年に2回、筑波山頂に朝日が昇るダイヤモンド筑波に合わせ、母子島遊水地でサウナを満喫する「ダイヤモンドサウナ」が市観光協会（鈴木勝家会長）主催で初めて開催されました。サウナは専用テントの中に薪ストーブを設置することで温め、ロウリュも楽しむことができる本格的な仕様でした。当日は-1℃と冷え込む中、東京都や千葉県など各地から集まった計60人がサウナを楽しみ、絶景を見ながらととのっていました。参加者は「美しい夜明けと、朝の澄んだ空気が気持ちいい」、「こんなきれいな景色があるなんて知らなかった。貴重な体験ができてとてもうれしい。心も体も温まった」と笑顔で話しました。